



「武藏御嶽神社ご祈祷印」販売

青梅市勝沼の「竹田印店」



(左から) 長女のニチ順子さん、竹田店主、
次女の婿で店を手伝う阿部さん

青梅市勝沼の印鑑・はんこ専門店「竹田印店」(竹田茂店主)はこのほど、オリジナル商品「武藏御嶽神社ご祈祷印」(実印)「写真」の販売を開始した。同市御岳山の武藏御嶽神社で祈祷を受けた印章で、「現代の名工」として知られる間宮壽石氏(立川市在住)が彫刻を手掛けた。竹田店主(91)は「このご祈祷印は、特別に許可をいただいて武藏御嶽神社にご祈祷していただいたもの。お客様さまの金運、健康運、愛情運などの運気が向上することを願いながら提供しています」と話す。

竹田印店は、旧青梅街道通り沿いの青梅信用金庫本店斜め向かいにある印章・印鑑の専門店。1930(昭和5)年に青梅市御岳で開業して以来90年、「安

竹田印店は、旧青梅街道通り沿いの青梅信用金庫本店斜め向かいにある印章・印鑑の専門店。1930(昭和5)年に青梅市御岳で開業して以来90年、「安

竹田印店は、旧青梅街道通り沿いの青梅信用金庫本店斜め向かいにある印章・印鑑の専門店。1930(昭和5)年に青梅市御岳で開業して以来90年、「安

はんこで運気向上

過ぎた今も現役で彫刻刀を握り、東京印鑑協同組合の「印章アドバ

イザー」としても活動。また、幼いころから剣道に打ち込み、現在も

剣道教士七段の腕前で、現在も

青梅市剣道連盟顧問を務める。

武藏御嶽神社で毎年行われる奉

納剣道大会の役員を長年務め、

剣道形演武を披露してきたこと

などから、「このご縁で、当店

と武藏御嶽神社の協力が実現

し、ご祈祷印を販売することに

なりました」とほほ笑む。

ご祈祷印の彫刻は、日本篆刻

の第一人者で、2011年に黄

綬褒章を受章した間宮氏が、注

文を受けてから一本一本

手彫りで製作する。印材

は柘(ツゲ)、書体は縁

起が良いとされる八方体

で、印面は間宮氏のオリジナ

ナルデザイン。サイズ

は18mm(価格2万7千円)と16

・5mm(同1万8千円)の2種

類があり、印章ケース、外箱が

付く。

古くから信仰を集める御岳山の魂と名工の彫刻技術による世

界に一つだけの芸術品で、実印としての使用はもちろん、お守り印や贈り物としても喜ばれ、遠方からの注文もあるという。

同店の阿部宏さんは「はんこは誕生や就職、結婚、商売を始めるときなど節目に作ることが多く、人生に大きな影響を与えるもの。運気が上がるはんこをお使いいただければと思っています」と話している。

同店と武藏御嶽神社の神符授与所でパンフレット兼注文書を配布している。問い合わせは同店(042983224461)へ。ホームページhttps://takeda-in



発行所
株式会社 西多摩新聞社
福生市本町33番地
〒197-0022
電話042-552-3737(代)
FAX042-552-3778

毎週金曜日発行
年間購読料 10,056円(税込み)
半年 5,028円(税込み)